

# 災害に備えよう

## ～自然災害から命と財産を守るために～

毎年、地震や水害などの自然災害によって、大きな被害が発生しています。自然災害は、いつ、どこで発生してもおかしくありません。災害から命を守るため、そして財産を守るため、日頃からの備えが大切です。

### 自然災害はいつ発生するかわかりません

近年、地球温暖化により、全国的に雨の降り方が激しくなっています。そのため、これまで洪水や土砂災害などが発生しなかった地域でも、災害が起こる可能性があります。

また、日本は地震の起こりやすい地形で、どこでも大きな地震が発生する可能性があります。地震による揺れの他、津波や火災など二次災害も大きな被害が発生しています。



地震



台風



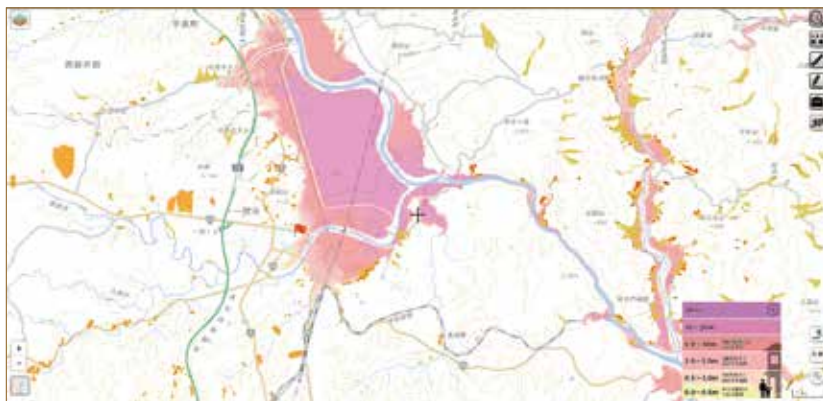
大雨



雪害

### ○「地域のリスク」を知る

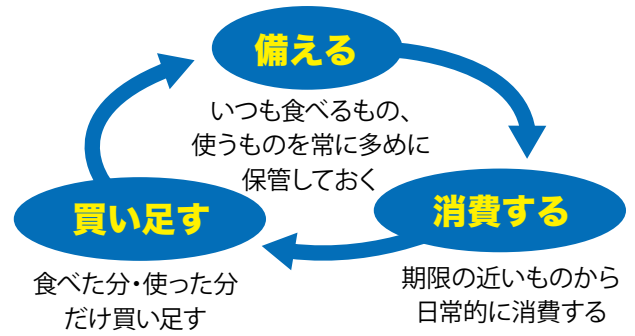
自宅や職場など日常的に過ごしている場所に、どのような災害の危険があるか知っておくことが防災の基本です。地域ごとの危険度は、市区町村などの「ハザードマップ」で確認できます。ハザードマップとは、自然災害が発生した時の浸水などの被害範囲を予想し、地図上に示したものです。想定される被害に応じて災害対策や避難経路を考えましょう。



出典：ハザードマップポータルサイト

# 日常備蓄のすすめ

「日常備蓄」とは、食料品や生活必需品など、普段から食べている・使っているものを少し多めに購入してストックしておくことです。災害時は、食料品や生活必需品が一時的に入手しにくくなることが考えられます。「買って・ストックして・使う」ため、ローリングストックとも呼ばれています。



## ①食料品・飲料

食料・水の備蓄は、最低3日分を目安に食べ慣れたもの・好きなものを少し多めに買ってストック。賞味期限の近い順に食べていき、減った分はその都度補充します。



## ②生活用品

ラップ、ポリ袋、ゴミ袋、ガムテープなどは、避難生活で何通りにも使えます。カセットボンベ、乾電池、軍手やビニール手袋なども多めに備えておきましょう。



## ③衛生用品

トイレトーパーやティッシュペーパーは多めに買っておくようにしましょう。ウエットティッシュ、せっけん、消毒用アルコールも役立ちます。女性は生理用品やおりものシートも多めに備えましょう。



## ④ベビー用品・介護用品

赤ちゃんのおむつや肌着、ベビーフードなどは、日頃利用しているものが安心です。介護用品も同様です。「代わりが難しい」製品は、多めにストックしておいた方が良いでしょう。



災害が発生した瞬間に持ち出すものと、避難生活に必要なものを分けておきましょう

### 《すぐに避難しなければならない時》

緊急避難時は、大きくて重いバッグは文字通り重荷になってしまいます。本当に必要なものを緊急避難リュックに入れて、すぐに持ち出せるように玄関などに準備しておきましょう。

### 《避難生活であると便利なもの》

在宅避難する場合や、避難所から一時帰宅する場合に備えることも大切です。

## JAでは日頃から3Q活動を実施しています

### 3Q活動とは

組合員・利用者さまのお宅を定期的にお伺いし、これまでのJA共済事業活動へのご理解やご協力に「ありがとう(Thank You)」を伝え、3つの質問(Question)をさせていただいております。また、3Q活動後も皆さまとの絆を一層深めるため、フォローさせていただきます。

### 3つの質問

- Q1. ご自身やご家族の皆さまに病気やけがによる入院・手術などはありませんでしたか？
- Q2. 建物・家財などの被害はありませんでしたか？
- Q3. ご家族の皆さまにお変わりありませんか？

「不安」や「悩み」を「安心」と「満足」にできるよう皆さまの心配事を解決するためのお手伝いをさせていただきます。詳しくは、JA各支店のライフアドバイザーまでお気軽にご相談ください。